

祝 世界文化遺産登録!

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産

# 天草の崎津集落 散策マップ



大江区  
大江教会  
崎津集落ガイドセンターから約5km(車で約10分)

今富地区

散策おすすめルート  
崎津集落ガイドセンター～  
崎津教会 約700m、崎津教会～  
きんつ市場 約250m  
※道路は右側通行をお願いします。

崎津地区

クルージング航路  
※クルージングを含む体験  
ツアーについては裏面参照。  
※時間によっては逆回り  
になる場合があります。

- フリーWi-Fiスポット
- 音声ガイドスポット
- 公共トイレ
- 多目的トイレ
- 観光駐車場(無料)
- 撮影スポット
- 見学・その他
- 各店舗 (詳細は裏面参照)

## 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と、その構成資産の一つ「天草の崎津集落」

16世紀に日本へ伝えられたキリスト教は、繁栄、激しい弾圧と約250年間にわたる潜伏、そして奇跡の復活という世界でも類を見ない歴史をたどります。

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は、1637～1638年の島原・天草一揆の後、江戸幕府によりキリスト教が禁じられている中で、日本の伝統的宗教や一般社会と共生しながら信仰を続けた、潜伏キリシタンの信仰継続にかかわる伝統の証となる遺産群です。一揆終えんの地や信仰が続けられた集落など12の資産で構成されています。

構成資産の一つである「天草の崎津集落」は、禁教下での潜伏キリシタンの信仰継続を示す集落です。アワビやタイラギの貝殻内側の模様を聖母マリアに見立てて祈る風習や、身近なものを信心具として代用し信仰を継続したことが特徴。仏教・神道・キリスト教が共存しながら信仰を育んだ漁村集落として、また、国の重要文化的景観に選定された集落として、貴重な資産価値を有しています。

### 崎津集落の「散策ルール」

- 集落の中では、多くの住民が生活しています。プライバシーを考え、次のルールに従って散策してください。
- ①道路は右側通行で、広がらずに歩いてください。
  - ②個人の敷地に入ったり、民家などのモノや道具に触れたりしないでください。
  - ③大きな声や音をたてず、静かに散策してください。
  - ④プライベートな場所の写真撮影はしないでください。
  - ⑤ゴミのポイ捨てや路上喫煙はしないでください。

### 崎津教会の「拝観マナー」

- 教会は、信者の方々が祈りをささげる神聖な場所です。節度を持って、静かに拝観してください。
- ①教会敷地内への一般車両の進入は禁止されています。
  - ②教会内の写真撮影は禁止されています。
  - ③教会内は土足禁止です。
  - ④教会内にペットを同伴することはできません。
  - ⑤教会内の物品には、勝手に触れないでください。
  - ⑥教会内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
  - ⑦ミサ・結婚式・お葬式など、儀式中の入館はご遠慮ください。
  - ⑧教会の鐘は、勝手に鳴らさないでください。
  - ⑨服装は祈りの場にふさわしいものを着用し、極端に肌の露出が多いものはさけてください。



**1 旧網元宅**  
(お休み処よろんかな)  
明治時代に4軒あった漁師網元の中で、唯一現存している家屋。崎津では珍しい庭を持つ漁村の伝統的家屋である。  
※平成30年夏から改修工事を実施(約1年間の予定)。工事期間中は入ることができません。



**3 崎津資料館みなど屋**  
崎津集落の歴史や漁村特有のキリシタン信仰などを紹介し、キリスト教布教期から潜伏期の資料を中心に展示。昭和初期の旅館を改修し、間取りなどは建築当時のままとされている。  
開 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
閉 天草市河浦町崎津463  
休 12月30日～1月1日 無料  
☎0969-75-9911



**5 つどい処まつだ**  
崎津資料館みなど屋の付属施設で、絵画や写真などを展示している。  
開 9:00～17:00  
閉 天草市河浦町崎津470  
休 12月30日～1月1日 無料  
☎0969-75-9911  
(崎津資料館みなど屋)



**7 トウヤ**  
家屋と家屋の間にある幅約90cmの小路。崎津集落の西側に位置する下町・中町・船津地区は、この小路が数軒ごとに通っており、漁村の生活に密着した交流の場にもなっている。(※集落内に複数あり)。



**10 旧崎津教会跡**  
キリスト教解禁後の1888(明治21)年に、崎津に建てられた教会の跡地。現在は、崎津教会のシスターが寝泊まりしていた修道院(1957年建築)が建っている。



**2 カケ**  
護岸に接する家屋から、海に張り出して設置されている構造物で、竹やシュロを使った漁師の作業場。船の係留や干物づくりなど、生活のために利用されている。  
※旧網元宅の改修工事期間中は入ることができません。



**4 崎津教会**  
長崎の建築家・鉄川与助により1934(昭和9)年に建てられたゴシック様式の教会。内部は国内でも数少ない畳敷き。以前は庄屋役宅で、禁教期には絵踏みが行われていた。絵踏みが行われていた場所に教会の祭壇が設けられている。  
開 9:00～17:00  
閉 天草市河浦町崎津539 無料  
☎0969-78-6000  
(崎津集落ガイドセンター)



**6 紋付屋旅館跡**  
菊池寛や林芙美子、野口雨情、林房雄、大宅壮一、司馬遼太郎など、多くの作家・文人が訪れた旅館跡。太平洋戦争末期から終戦後にかけて、天草を舞台にした連続テレビ小説「藍より青く」(昭和47年～48年)のロケ地としても知られる。



**8 海上マリア像**  
崎津教会近くの岬に、海に向かってたたずむマリア像。キリスト教信仰のシンボルとして1974(昭和49)年に建てられたもので、行き来する漁船の運航の安全と豊漁を静かに見守っている。また、マリア像の向こう側に沈む夕陽が、ロマンチックな雰囲気演出し、天草夕陽八景の一つにもなっている。



**11 崎津諏訪神社**  
1805(文化2)年に、潜伏キリシタンが発覚する「天草崩れ」の舞台となった神社。代官所の役人は、異仏取り調べのため、信心具を境内に設置した箱に捨てよう指示したと記録されている。